

平成 23 年度に係る部局達成状況評価

1. 附属図書館
2. 文学研究科・文学部
3. 人間科学研究科・人間科学部
4. 外国語学部
5. 法学研究科・法学部
6. 経済学研究科・経済学部
7. 理学研究科・理学部
8. 医学系研究科・医学部（医学科）
9. 医学系研究科・医学部（保健学科）
10. 医学部附属病院
11. 歯学研究科・歯学部
12. 歯学部附属病院
13. 薬学研究科・薬学部
14. 工学研究科・工学部
15. 基礎工学研究科・基礎工学部
16. 言語文化研究科
17. 国際公共政策研究科
18. 情報科学研究科
19. 生命機能研究科
20. 高等司法研究科
21. 連合小児発達学研究科
22. 微生物病研究所
23. 産業科学研究所
24. 蛋白質研究所
25. 社会経済研究所
26. 接合科学研究所
27. 低温センター
28. 超高圧電子顕微鏡センター
29. ラジオアイソトープ総合センター
30. 環境安全研究管理センター
31. 国際教育交流センター
32. 生物工学国際交流センター
33. 極限量子科学研究センター
34. 太陽エネルギー化学研究センター
35. 総合学術博物館
36. 大学教育実践センター
37. 保健センター
38. 臨床医工学融合研究教育センター
39. コミュニケーションデザイン・センター
40. 金融・保険教育研究センター
41. 科学教育機器リノベーションセンター
42. グローバルコラボレーションセンター
43. 世界言語研究センター
44. 日本語日本文化教育センター
45. 環境イノベーションデザインセンター
46. ナノサイエンスデザイン教育研究センター
47. 知的財産センター
48. 核物理研究センター
49. サイバーメディアセンター
50. レーザーエネルギー学研究センター
51. 免疫学フロンティア研究センター
52. 学際融合教育研究センター

達成状況評価書(平成23年度)

部局名: 附属図書館

項目	コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、平日開館時間の1時間繰り上げ(総合図書館)、祝日開館(生命科学図書館)、休業期の土日開館(外国語学図書館)等開館時間の延長を一部実現する(項目5-1-2)など、大学の実績として評価できる。その他、新たに設置した「キャリア支援図書コーナー」の稼働率が好調である(項目7-2-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	<p>【年度計画の達成状況】 該当なし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	<p>(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流</p> <p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、大阪府内の地方自治体の協力を得て埋蔵文化財調査報告書の電子化を進め、108点の報告書を登録する(項目12-1-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、学内措置により、外国語学図書館にラーニング・コモンズ(愛称「るくす」)を設置する(平成24年4月オープン)(項目29-2-4)など積極的に取り組んでいる。また、電子的情報基盤整備経費等により、主要電子ジャーナル、データベースを引き続き全学に提供し、アクセス数が増加する(項目29-2-1)とともに、開館時間、入館者数、貸出冊数についても昨年度よりも増加する(項目29-2-4)など成果が上っており、大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況	<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、開館時間の延長(項目5-1-2)や電子ジャーナル、データベースの提供に努める(項目29-2-1)など、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名:文学研究科・文学部

項 目	コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、自習室の設置(項目5-1-1)、『大阪大学大学院文学研究科外部評価書2011』の刊行(項目5-2-2)、キャリア形成支援(企業セミナー5回、ガイダンス3回実施(のべ参加者数300名))(項目7-2-1)など積極的に取り組んでおり、大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、日本学術振興会「組織的な若手研究者等海外派遣プログラム」及び「頭脳循環を加速する若手研究者海外派遣プログラム」を利用して、学部学生・大学院学生を含む若手研究者等を海外に積極的に派遣する(49名)(項目8-3-1)など大学の実績として評価できる。また、ロンドン大学、ハーバード大学、フンボルト大学等との共同研究を継続する(項目8-3-2)とともに、部局独自の科研費・日本学術振興会特別研究員応募セミナーの開催、申請書類のチェック・助言を行う(項目9-3-2)など、積極的に取り組んでおり、大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	<p>(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流</p> <p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 特になし。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、競争的外部資金を新規に獲得した教員及び継続して獲得している教員に対して運営費交付金を割増配分する(項目17-5-1)など積極的に取り組んでおり、大学の年度計画に貢献している。また、平成23年度教育研究等重点推進経費により、貴重資料のデジタル化を精力的に推進し、良好で大量のデジタルデータを得たことを通じ、貴重資料の効率的な活用を図る条件を整える(項目29-2-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況	<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、外部資金によって学生を含む若手研究者を海外に派遣する(項目8-3-1)など、大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名:人間科学研究科・人間科学部

項目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、グローバル30（人間科学コース）の第1期生に対し、他部局との協力の下、全学共通教育科目を開講した（項目4-1-1）ほか、各種取り組みから中間評価Aを受ける（項目1-3-1）など積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。また、ICTを活用した授業の増加（項目4-2-1）、シラバス記載項目の追加及び一部科目でのGPAの試行（項目5-1-1）、授業評価アンケートの回答率上昇に向けた取り組み及び卒業時アンケートの継続実施（項目5-2-1）、就職ガイダンス・企業セミナーの実施（項目7-2-1）など積極的に取り組んでおり、これらの各種取り組みは大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、グローバルCOEプログラム「コンフリクトの人文学」の成果をまとめた叢書『コンフリクトの人文学』（全4巻）を3月に出版するとともに、本プログラムで築き上げた教育・研究体制を今後さらに発展させていくため平成24年度から大学院高度副プログラム「グローバル化とコンフリクト—人間科学的アプローチ」を新設し、21科目を提供することを決定する（項目8-2-1）など大学の実績として評価できる。また、グローバルCOEプログラム「認知脳理解に基づく未来工学創生」が、平成21年度採択拠点中間評価結果において高い評価を得る（項目8-2-1）など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、教員免許状更新講習など小中校教員のリカレント教育のニーズに応える講習を行う（項目11-2-1）など積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 特になし。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、グローバル30（人間科学コース）を開講し、各種取り組みから中間評価A（項目1-3-1）を受けるなど、特筆すべき取り組みを行っている。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名:外国語学部

項目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、少人数ゼミにおける対話型教育において学生のデザイン力を涵養するための方策を取りまとめる(項目1-2-1)ほか、キャリア形成教育科目の開講(受講者499人)(項目7-1-1)など適切に実施し、大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>該当なし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 特になし。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、言語文化研究科と世界言語研究センターとの組織統合を受けて、外国語学部運営組織についての見直しを行う(項目17-5-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、外国語学部運営組織についての見直しを行う(項目17-5-1)など、特筆すべき取り組みを行っている。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名:法学研究科・法学部

項目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、法科大学院への進学促進のため、法曹養成に必要な科目の一部を早期に受講できるよう、カリキュラムの改訂を行う(項目2-1)とともに、アドミッションポリシーの改訂(項目3-1)、企業セミナーの開催(項目7-2)など積極的に取り組み、大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、ドイツ・中国等の各国と多彩な国際共同研究を行う(項目8-3)とともに、高等司法研究科と共同して計8回のスタッフ・ミーティングを行い、情報共有により共同研究の促進を図る(項目9-1)など積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、部局横断的な試みとして、内閣府行政刷新会議と連携し、国際公共政策研究科と共催で、日本初、院生主導の「大学院生による公開模擬事業仕分け」を実施する(項目11-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 特になし。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、法科大学院への進学促進のため、法曹養成に必要な科目の一部を早期に受講できるよう、カリキュラムの改訂を行う(項目2-1)など大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名: 経済学研究科・経済学部

項目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、経済学部・経済学研究科による学部・大学院博士前期課程・早期修了プログラムの実施(合格者: 11名)など、高度専門人材の育成のための環境整備(項目2-1-1)、講義アーカイブの作成等e-learning教材の充実(項目4-2-1)、学生のニーズに即した企業セミナーや就職セミナーの開催(項目7-1-1)に積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、グローバルCOEプログラム「人間行動と社会経済のダイナミクス」の拠点部局として積極的に推進し(項目8-2-1)、大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、大学院の政策専攻、グローバルマネジメント・コースなどを社会人にも開放し、1名を受け入れるとともに、科目等履修生を大学院に6名、学部5名受け入れる(項目11-2-1)など社会人教育の推進に積極的に取り組んでおり、大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>該当なし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、大学院博士前期課程・早期修了プログラムの実施(項目2-1-1)やグローバルCOEプログラムの推進(項目8-2-1)など、特筆すべき取り組みを行っており、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名: 理学研究科・理学部

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、生物科学専攻に生命理学コースの新設(項目2-1)、一般入試前期日程試験に新たな選抜方法としての「挑戦枠」、「研究奨励A0入試」の導入決定(項目3-2)など積極的に取り組み、大学の年度計画に貢献している。また、将来教員を目指す学生に対し、大阪教育大学と連携した高度専門型理系教育指導者養成プログラム及び高度理科教育者養成のためのコア・サイエンス・ティーチャー養成プログラムの開始については、高度専門職業人育成のためのキャリア形成教育の取組として、今後の展開が期待される(項目7-1)。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、(独)日本学術振興会「若手研究者インターナショナル・トレーニング・プログラム」等を利用して、学生等を海外インターンシップとして支援する(項目8-3)とともに、生命科学研究独立アプレンティスプログラムのテニュアトラック制度の運用を継続する(項目9-1)、外国人研究者・留学生のために英語で分析測定講習会を行う(項目9-3)など積極的に取り組み、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、小中高生に対する啓発活動・出張講義・公開授業などの数が昨年度よりも倍増する(総数111件)(項目12-1)とともに、日本学術振興会プログラム「JSPS若手研究者交流支援事業」によりASEAN諸国の学生と若手研究者を招へいし、物理サマースクールを1ヶ月開催する(項目13-1)など、積極的に取り組んでいる。また、グローバル30「化学・生物学複合メジャーコース」について他部局と協力して運営する(項目13-1)など大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>該当なし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、生命理学コースの設置(項目2-1)、グローバル30「化学・生物学複合メジャーコース」の展開(項目13-1等)など、積極的に取り組み、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名: 医学研究科・医学部

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、5年次の学生に設定した選択実習で、海外実習、地域医療、基礎医学研究など、学生のニーズに合わせた体験型実習を導入し(項目1-2-1)、新たな自習室の設置により、学生が自主的に学習できる環境を整備する(項目5-1-1)など、大学の年度計画に貢献している。また、他部局との横断型教育プログラムを引き続き実施するとともに、平成24年度から開始する博士課程教育リーディングプログラム「生体統御ネットワーク医学教育プログラム」の準備を行う(項目2-2-1)など大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、グローバルCOEプログラム「オルガネラネットワーク医学創成プログラム」を推進し、各種セミナー、シンポジウム、学会発表を行う(項目8-2-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、交換留学等により留学生の受け入れを拡大し(項目13-1-1)、生活面のサポートが主であった留学生のサポートを学業面でも充実する(項目13-1-2)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、ホームページの充実やメールマガジンの発行などにより情報発信の促進を行う(項目25-1-1)ほか、スペースの有効利用によりグループ学習室などの運用を開始する(項目26-3-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、大学院高度副プログラム、グローバルCOEプログラム、博士課程教育リーディングプログラム(項目2-2-1)等で、他分野との融合を進め(項目8-3-1)、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 平成23年度には、過去に発生した研究費の不正使用に関して懲戒処分が行われているが、今後も引き続き、再発防止のための着実な取り組みが求められる。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名: 医学系研究科・医学部(保健学)

項目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、情報系教育の一環として、東日本大震災の被災地にて導入されたロボティクス機器の体験型学習を行う(項目8-2-1)など大学の実績として評価できる。また、他研究科・他大学などと連携して、医工連携プログラム・がんプロフェッショナル養成プランなど複合型の教育プログラムを推進する(項目1-1-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、ロボティクス&デザイン看工融合共同研究講座、がんプロフェッショナル養成プランの一環としての研究を推進する(項目8-2-1)など積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、国や地方自治体、各種団体の委員や委託調査研究、講習会などの実施(項目11-2-1、12-1-1)、またJICAとの連携協力協定に基づいた地域別研修による研修生の受入れ、技術協力プロジェクトへの参画(項目13-1-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営 以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、ホームページの充実、一般市民が参加しやすい講座・セミナー等の企画・実施(項目25-1-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、他組織と連携した教育プログラムを実施する(項目1-1-1)、他組織と連携した研究プロジェクトを実施する(項目8-2-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名: 医学部附属病院

項目	コメント
附属病院に関する項目 (大学の年度計画: 14~16)	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】</p> <p>(1) 教育・研究面 平成23年度は、厚生労働省の「早期・探索的臨床試験拠点整備事業」に採択される(項目14-1)とともに、リスクマネジメント講習会や各部署の安全学習等において、中央クオリティマネジメント部が開発したeラーニングによる医療安全学習システムを活用し、本システムが、「第8回日本e-Learning大賞」において、「厚生労働大臣賞」を受賞する(項目16-1)など成果が上がっており、大学の実績として評価できる。</p> <p>(2) 診療面 平成23年度は、5医療機関との間で、ハイビジョンビデオ会議システムを用いて、重症あるいは専門知識を要する症例の医療相談を行う(項目14-3)とともに、全国の国公立大学附属病院を対象に、「国公立大学附属病院医療安全セミナー」を開催する(項目16-1)など積極的に取り組み、大学の年度計画に貢献している。</p> <p>(3) 運営面 平成23年度は、心臓病専門施設であるハートセンターに特定集中治療室(CCU)、内視鏡センターを拡充・整備するとともに、呼吸器センター、災害対策室、患者サービス企画室を平成24年4月に設置するための準備を行うなど積極的に取り組み、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
全体の項目に関する達成状況	<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名: 歯学研究科・歯学部

項目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、大学院レベルの専門教育を希望する学部生に夏休みに大学院専門教育を提供するPhD-DDSコースを策定する(項目2-1-1)など、積極的に取り組んでいる。また、公正かつ明確な学位授与基準を確立するため、学位申請者に最も適切な審査委員を選択するための教員データベースを構築する(項目5-1-1)、学生自習室・コミュニケーションスペースの新規整備を行う(項目6-3-1)など大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、口腔科学フロンティアセンターを歯学研究科附属センターに改編し、研究推進をより有機的にサポートする体制の構築をめざす(項目9-2-1)など積極的に取り組んでいる。また、海外の大学へ各種研修プログラムを通じて大学院生を派遣したほか、海外拠点及び特に感染症分野においてタイ感染症研究センターの活動に参画・利用し、当該地域の機関との共同研究を推進する(項目8-3-1)など大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、市民フォーラムを開催し、400名の参加者を得る(項目11-1-1)など、積極的に取り組んでいる。また、海外からの歯学部学生短期受入れプログラム(ISW; International Student Week)によって、5名の学生を受け入れるなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、学部の変更に伴ったほか、組織の編成の見直しを図り、「統合機能口腔科学専攻」、「分子病態口腔科学専攻」の2専攻を、広く統合的な学問領域を包括する目的で「口腔科学専攻」の1専攻に再編する改組の申請を行い、承認される(項目17-3-1)など積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、PhD-DDSコースの策定(項目2-1-1)、歯学研究科附属センターへの改編(項目9-2-1)、大学院の専攻の再編統合(項目17-3-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名:歯学部附属病院

項目	コメント
附属病院に関する項目 (大学の年度計画: 14~16)	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】</p> <p>(1) 教育・研究面 平成23年度は、歯科医師国家試験の合格率(100%)が国公立大学で1位となるとともに、歯科医師卒後臨床研修の外部評価に対応して公開研修セミナーの開催回数を増加させるとともに、平成23年度開始の「口の難病プロジェクト」を展開していくにあたり、同プロジェクトに関連する疾患データベースの保有状況を整理する(項目14-1-1)など、大学の実績として評価できる。</p> <p>(2) 診療面 平成23年度は、近未来歯科医療センターの歯周組織再生部門とCP(Cell Processing)センターを本格稼働できる状態にまで整備するとともに、本センターの先端歯科医療部門では、引き続きインプラント手術をはじめとして、歯周及び歯内治療で高度な技術と清潔度を要する治療を行うなど大学の実績として評価できる。また、東日本大震災に際し緊急・災害時用備蓄物品の供出等の物的支援、看護師の派遣や派遣要員として歯科医師の登録を行うなど、大学の実績として評価できる。</p> <p>(3) 運営面 平成23年度は、診療実績が目標稼働額を上回り、外来診療では、患者数と稼働額が過去最高になるとともに、入院・手術部門では平成22年度の実績を上回り、診療情報の完全電子化を完了し、患者情報と連携させて蓄積・活用する(項目14-3-1)など、大学の実績として評価できる。さらに、患者の利便性を向上させるため、病院エントランスの増築・改修工事の設計を行うとともに、駐車場の拡張と整備を行い、併せて区域内完全禁煙を実施するなど、大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
全体の項目に関する達成状況	<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名:薬学研究科・薬学部

項目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、体験型学習やPBLを取り入れた科目の開講(項目1-2)、現状に合った「学習の手引き」の作成及び学生へ周知、新たな実務実習記録のシステムの導入、全教員を対象としたFD研修会の開催及び成績評価システムの充実・定着化を図る(項目5-1)など積極的に取り組み、大学の年度計画に貢献している。また、薬学教育評価機構による第三者評価に向け、資料・情報の収集管理のため各種環境整備を行う(項目5-2)など積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、文部科学省最先端研究基盤事業「化合物ライブラリーを活用した創薬等最先端研究・教育基盤の整備」を継続し、研究企画WG「創薬推進研究拠点形成」の主催でワークショップと国際フォーラムを開催するとともに、分担機関として文部科学省創薬等ライフサイエンス研究支援基盤事業(創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業)「大型創薬研究基盤を活用した創薬オープンイノベーションの推進」に申請、採択される(項目8-1、8-2、9-2)など成果が上がっており、大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、薬学部公開講座について講師・演題を工夫して開催した結果、参加者及び収入が大幅に増加するなど成果が上がったほか、薬学部卒業後研修会及びキャリアアップレクチャーの実施(項目11-2、12-1)など積極的に取り組み、大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、効率的な業務分掌について検討し、給与関係業務の所掌変更を行い、係横断型業務のチーム制及び繁忙期の業務分散のためのグループ制について制度設計し、導入する(項目19-1)とともに、事務処理における専決規程をさらに見直し、新たに20項目の事項について専決を可能とする(項目19-2)など、大学の実績として評価できる。また、平成24年度からの創成薬学専攻博士前期課程入学定員の変更(15名増員)及び創成薬学専攻博士後期課程及び医療薬学専攻博士課程の設置が認められる(項目17-3-1)など積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、各種教育方法の改善(項目1-2)、第三者評価にむけての環境整備(項目5-2)、大規模プロジェクト研究の推進(項目8-2)、効率的な業務分掌の実現(項目19-1)など、積極的に取り組み、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名:工学研究科・工学部

項目	コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、後期日程の募集人員をゼロとして2種類の配点による入試を実施するとともに、理学部、基礎工学部との3学部合同による「国際科学オリンピックA0入試」の導入を決定する(項目3-2)、授業改善アンケートについては回答率が向上する方策を試行し、その効果についてのデータ収集を行う、一部の講義科目で外部の企業の技術者、研究者からヒアリングを実施する(項目5-2)など積極的に取り組み、大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、博士後期課程進学者に対する日本学術振興会特別研究員への申請支援及び採用率の向上(項目8-1)、エラスムス・スミス英語コースに関わる基幹大学との学術協定の拡充(項目8-3)、新任教職員合宿研修、Internship on Campus、科学研究費補助金申請書セミナーの開催(項目9-3)など積極的に取り組み、大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	<p>(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流</p> <p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、本研究科の教員が中心となって推進する共同研究講座が18件、協働研究所が2件に達するなど積極的に取り組んでいる。また、第3回共同研究講座シンポジウムを東京で開催し、共同研究講座制度の普及に貢献する(項目11-1)とともに、女子学生・留学生などの確保のため、対外的な広報に努めるよう、情報広報室を立ち上げる(項目17-1)など積極的に取り組み、大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営 以降 (大学の年度計画: 17~29)	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、文部科学省の「テニュアトラック普及・定着事業」において、「機関選抜型」として選定されたテニュアトラック教員の中から、特に優秀な若手研究者を選抜し、「個人選抜型」の支援対象となるテニュアトラック教員として、工学研究科の5名が選定される(項目18-1)など大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況	<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、入試改革の遂行(項目3-2)、若手研究者の研究及びキャリア支援(項目8-1)、共同研究講座の推進(項目11-1)、テニュアトラック普及・定着事業の実施(項目18-1)など、積極的に取り組み、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名:基礎工学研究科・基礎工学部

項目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】</p> <p>平成23年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】</p> <p>平成23年度は、PBL科目やキャリアデザインをテーマにした科目等の新規開講(項目1-2-1)、文部科学省理数学生育成支援事業「基礎工学オナーフラタニティプログラム」の推進(項目2-1-1)、副専攻プログラム「認知脳システム学」の開講(項目2-2-2)、理学部、工学部と合同の「国際科学オリンピックA0入試」の導入(項目3-2-2)、大学院教育改革推進プログラム「システム創成プロフェッショナルプログラム」における学習ポートフォリオシートの導入(項目5-1-1)など積極的に取り組み、大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】</p> <p>特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】</p> <p>平成23年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】</p> <p>平成23年度は、グローバルCOEプログラム「物質の量子機能解明と未来型機能材料創出」、「認知脳理解に基づく未来工学創成」を推進し(項目8-2-1)、中間評価が行われた「認知脳理解に基づく未来工学創成」では、5段階評価の最高評価を受け、『特に優れている拠点』として選ばれるなど大学の実績として評価できる。また(独)日本学術振興会「組織的な若手研究者等海外派遣プログラム」等を利用して、学部学生・大学院学生を含む若手研究者等を海外に派遣する(項目8-3-1)など大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】</p> <p>特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】</p> <p>平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】</p> <p>平成23年度は、産学交流会を開催し、産業界のニーズと大学のシーズのマッチングを行う、産学連携室で学内外からの技術相談に応じる(項目11-1-1)、一般市民向けの公開講座を行う(項目12-1-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】</p> <p>特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】</p> <p>平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】</p> <p>平成23年度は、教員業績評価を年2回実施し、その結果を教員個人の業績手当に反映する(項目24-1-2)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】</p> <p>特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】</p> <p>中期計画の達成に向けて、年度計画は特筆すべき進捗状況にあると判断できる。引き続き、現行の取り組みを維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】</p> <p>平成23年度は、各種の教育プログラムの実施、入試・教育方法の工夫、グローバルCOEプログラム等の研究プロジェクトの推進とともに、教育研究センターの設置を見越した未来研究ラボシステムの構築など積極的に取り組み、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】</p> <p>特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名:言語文化研究科

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、高度教養プログラム科目の提供方法を検討するとともに、博士課程教育リーディングプログラム「超域イノベーション博士課程プログラム」の英語チュートリアル制や英語トレーニングの授業内容等、同プログラムの外国語教育に関わる計画を立案する(項目1-1-1)など積極的に取り組み、大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、言語文化専攻と言語社会専攻が協力して言語文化共同研究を企画し15件のプロジェクトを立ち上げ、これを推進する(項目9-3-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 特になし。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、世界言語研究センターとの組織統合を推進し、言語社会専攻を現在の3講座から8講座に再編拡充するとともに、日本語・日本文化専攻を新設する計画を立てる(項目17-3-1)など積極的に取り組み、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、世界言語研究センターとの組織統合を推進し、言語社会専攻を現在の3講座から8講座に再編拡充(項目17-3-1)するなど、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名:国際公共政策研究科

項目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、FIELDO (GLOCOL海外体験型教育企画オフィス) と連携して、インターンシップ、フィールドワーク活用科目を実施(項目1-2)するなど積極的に取り組み、大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、オランダ・ライデン大学との共同研究に加え、南部アフリカの諸大学との共同研究の土台を形成するとともに、「大学の世界展開力強化事業」の新規採択により、東南アジア5か国の連携大学(タイ、フィリピン、シンガポール、インドネシア、東ティモール)との交流を通じた研究を推進する(項目8-3)など、積極的に取り組み、大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、新規採択の「南部アフリカにおける平和のオアシス形成」事業の一環として、ザンビア及び南アフリカの大学との連携の進展(項目13-2)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、アドバイザリーボードの委員にオランダ及び韓国の総領事を追加し、韓国総領事には東アジア連携事業の強化に向けた助言を、オランダ総領事には頭脳循環事業で提携するライデン大学との関係のさらなる発展等について助言を得る(項目17-1)など積極的に取り組み、大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、「大学の世界展開力強化事業」の新規採択により、東南アジア5か国の連携大学(タイ、フィリピン、シンガポール、インドネシア、東ティモール)との交流を通じた研究が進展する(項目8-3)など、特筆すべき取り組みを行っている。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名:情報科学研究科

項目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、グローバルCOEプログラムと連携し、デザイン能力養成のための教育としてインタラクティブ創成工学演習及びインタラクティブ創成工学基礎演習を実施するとともに、企業から講師を招聘し、ブレFD講演会を開催する(項目1-2-2、7-1-2)など、大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、グローバルCOEプログラム「アンビエント情報社会基盤創成拠点」における人材育成・研究開発を推進する(項目8-2-1)とともに、(独)科学技術振興機構(JST)の戦略的創造研究推進事業(CREST、ERATO)等の各種重点研究を推進する(項目8-2-2等)など大学の年度計画に貢献している。また、文部科学省特別経費による人材育成プログラム「ソフトウェアイノベーション先導のための研究教育プログラムの開発」が採択・交付され、授業実施のための体制構築などの準備が行われる(項目8-2-6)など積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、研究科の産学連携総合企画室が中心となり、シンポジウム2回、技術交流会5回、講座(セミナー等)22回を開催し、共同研究実現に向けて検討を行う(項目11-1-1)など積極的に取り組み、大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、博士後期課程の充実を図るため、博士後期課程の学生への研究科RA制度の導入や研究科独自の留学生用奨学金制度を実施する(項目17-5-1)など積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、「ソフトウェアイノベーション先導のための研究教育プログラムの開発」の推進(項目8-2-6)、グローバルCOEプログラムの展開(項目8-2-1)など積極的に取り組み、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名:生命機能研究科

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、入試改革を行うことを決定する(専門科目入試の廃止、口頭試問の充実、冬季特別選抜実施)(項目3-1-1)を決定するとともに、授業評価アンケートを元に、実習科目の編成について検討する(項目5-2-1)、発達障害に関する講習会を実施する(項目6-2-1)など、大学の年度計画に貢献している。また海外の大学との教育交流を深めるためdual diploma制度の実現に向けて準備を行うなど積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、種々の研究成果の論文掲載及び受賞、グローバルCOEプログラム「高次生命機能システムのダイナミクス」において理化学研究所の連携で設立された生命システム研究センターの活動開始、情報通信研究機構及び国際電気通信基礎技術研究所との共同事業“脳情報通信融合研究プロジェクト”における研究センターの建設(項目8-2-1)など産学官の連携事業での融合研究に積極的に取り組み、大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、グローバルCOEプログラムを中心に、海外の学生・若手研究員を招聘し、研究室滞在による研究体験、学生主催の合宿形式異分野融合研究交流会を通じての異分野・異文化交流を推進する(項目13-2-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、特任教員、任期制教職員の雇用、任期更新に際しての公平性の担保、在職者の多様性の確保(項目18-1-1)など積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、異分野融合による教育研究活動を推進することを目的とし、海外の大学とのdual diploma制度の準備を行う、異分野・異文化の交流を図るためのプログラムを展開する(項目13-2-1)など、積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名:高等司法研究科

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、コンタクトチャートを電子カルテ化し、ウェブ上の新システムに転換し、次年度からGPA値の表示を行えるように準備を完了する(項目5-1-1)など積極的に取り組んでおり、大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、法学研究科と共同して計8回のスタッフ・ミーティングを行い、情報共有により共同研究の促進を図る(項目9-1-2)など積極的に取り組み、大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、韓国のロースクールとの交流を通じて法曹養成制度改革の意義の確認を踏まえ、これを契機により高度な教育研究の展開につなげる(項目13-1-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 特になし。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、韓国のロースクールとの交流を通じて法曹養成制度改革の意義の確認を踏まえ、これを契機により高度な教育研究の展開につなげる(項目13-1-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名: 連合小児発達学研究所

項目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、全導入科目(150科目)についてe-learning教材を整備する(項目4-2)など、積極的に取り組んでおり、大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、自閉症の予防・治療に係る研究を推進し、成果がインパクトファクターの高い雑誌に掲載される(項目8-1等)など大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、堺市と池田市において発達相談事業を行ったほか、東日本大震災の復旧・復興への貢献活動として、被災児童・生徒のメンタルヘルスケア支援として教員を現地に派遣し、ストレスマネジメント技術の啓発を行う(項目12-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は新たに福井大学と千葉大学が参画し、社会のニーズに見合ったより高度な教育指導体制となる(項目17-3)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は新たに福井大学と千葉大学が参画し体制を強化する(項目17-3)、東日本大震災の復旧・復興支援を行う(項目12-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名:微生物病研究所

項目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 該当なし。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、著名な研究者による「感染症学・免疫学アドバンスセミナーシリーズ」(月1回)を他研究科の大学院学生に開講する(項目2-1)とともに、大学院高度副プログラム「感染症学・免疫学融合プログラム」を開講する(項目2-2)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、アフリカにおいてマラリアワクチン臨床試験を実施し、有効性が確認されたほか(項目8-2-1)、タイ・マヒドン大学内に大阪・マヒドン感染症センターを設置するなど、熱帯感染症に関する国際共同研究に積極的に取り組み、大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、タイの大洪水に際し、タイ保健省医科学局からコレラ発生時の緊急出動要請を受け、日本・タイ感染症共同研究センターで開発したコレラ菌の簡易検出法を用いて、タイ保健省医科学局の研究者とともに現地で活用するなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>該当なし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、共同利用・共同拠点として、26件の公募共同研究を行うとともに、感染症学ならびに生体応答医学の基盤的研究で顕著な成果を上げたほか(項目8-1-1、8-2-1)、タイの大洪水に際し迅速に対応するなど、国際的な活動に積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 平成23年度には、過去に発生した研究費の不正使用に関して懲戒処分が行われているが、今後も引き続き、再発防止のための着実な取り組みが求められる。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名:産業科学研究所

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画：1～7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】</p> <p>平成23年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】</p> <p>特になし。</p> <p>【留意事項】</p> <p>特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画：8～10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】</p> <p>平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】</p> <p>平成23年度は、全国5研究所によるネットワーク型共同研究拠点として、全国に共同研究（ボトムアップ研究）の公募を行い、ナノサイエンス・デバイス研究領域部会として、80件を採択し、共同研究を実施するとともに、トップダウン研究13件を戦略的に策定し開始する（項目10-1-2）など積極的に取り組み、大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】</p> <p>特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画：11～16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】</p> <p>平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】</p> <p>平成23年度は、産研インキュベーション棟に開設した企業リサーチパークなどを活用し、産学官連携を推進する（項目11-1-2）など積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】</p> <p>特になし。</p>
4. 業務運営 以降 (大学の年度計画：17～29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】</p> <p>平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】</p> <p>平成23年度は、所内運営の支援機能強化（評価、広報、国際、財務、施設に係る企画立案等の補佐）を図るため、企画室の設置要項を見直すとともに、特任教授の選考を実施する（項目17-5-2）など積極的に取り組み、大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】</p> <p>特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】</p> <p>中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】</p> <p>平成23年度は、全国5研究所によるネットワーク型共同研究拠点の本部として共同研究を実施する（項目10-1-2）など、積極的に取り組み、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】</p> <p>特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名:蛋白質研究所

項目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、理学部の学部4年生を新たに研究室に受け入れる(項目1-2-1)とともに、グローバル30や国際共同研究を通して留学生や研究員を受け入れる(項目1-3-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、共同利用・共同研究拠点として、国内外から研究者を積極的に受け入れ、国内118件、国外9件の研究課題を実施するとともに、平成23年度の日本蛋白質構造データバンク(PDBj)におけるデータ登録処理数は、世界全体のwwPDBの20%(1,804件)にのぼる(項目10-1-1)など、大学の実績として評価できる。さらに、テニユア審査に向けた評価を実施する(項目9-1-1)とともに、SPring-8の生体超分子構造解析ビームラインについて、共同研究員制度を利用して台湾、インド、マレーシアからの研究者を受け入れる(項目10-1-1)など積極的に取り組んでおり、大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、計12回の蛋白質研究所セミナーを開催するなど、最新の研究成果・研究の動向を、大学等の研究者のみならず一般の人を含め、広く社会に発信する(項目11-1-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、運営協議会の学外有識者を有効活用する(項目17-1-1)とともに、予算配分の基本方針を策定し(項目17-5-1)、さらには創設50周年を記念し、ホームページに同窓会のページを設け、同窓会を介して情報交換を行う(項目25-1-1)など、効果的な業務運営の体制構築のために積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、共同利用・共同研究拠点として国内外から研究者を積極的に受け入れ研究課題を実施した(項目10-1-1)ほか、効果的な業務運営の体制を構築する(項目17-1-1、17-5-1等)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名:社会経済研究所

項 目		コメント
1.教育 (大学の年度計画:1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	該当なし。
2.研究 (大学の年度計画:8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、14件の公募による共同研究を実施するとともに、行動経済学の研究拠点として、引き続き経済実験とアンケート調査による研究環境を整えたほか、国内招へい教員16名、外国人研究員6名を招へいし、共同研究を推進する(項目10-1-1)など大学の実績として評価できる。また第14回「社研・森口賞」を実施し、優れた論文を執筆した大学院生を表彰し、奨励金を授与し奨励する(項目10-1-1)など積極的に取り組み、大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3.その他 (大学の年度計画:11~16)	(1)社会連携、社会貢献 (2)国際交流	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、3回の国際コンファレンスを開催し、海外から研究者をセミナーに招へいする(項目13-2-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4.業務運営以降 (大学の年度計画:17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、自己点検評価のため活動報告を作成し、評価結果については給与等へインセンティブを与える(項目18-1-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5.全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、共同利用・共同研究拠点として、引き続き経済実験とアンケート調査による研究環境を整えるとともに、14件の研究課題を採択し、共同研究を推進する(項目10-1-1)など、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名:接合科学研究所

項 目	コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、新たな自習室の設置等により、学生が自主的に学習できる環境を整備する(項目5-1-1)など、大学の年度計画に貢献している。さらに、工学研究科の大学院高度副プログラム「高度溶接技術者プログラム」との連携協力により、大学院学生を対象とした既設の国際溶接技術者(IWE)コースを発展させ、その結果、本年度修了生15名のうち13名が国際溶接学会(IIW)資格日本認証機構による最終試験に合格する(項目2-1-1)など積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、全国から259名の共同研究員を受け入れ、6大学6研究所連携事業である「特異構造金属・無機融合高機能材料開発共同研究プロジェクト」を推進する(項目8-2-1)など、大学の実績として評価できる。また、世界初のニッケルフリー超弾性チタン合金と革新的微細レーザー接合プロセス技術の活用による眼鏡フレームの開発を行い、内閣総理大臣表彰「ものづくり日本大賞」特別賞を受賞する(項目8-1-1)など積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	<p>(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流</p> <p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、ベルギーや中国の大学・研究機関と2国間のジョイントシンポジウムを開催する(項目13-1-1等)など大学の実績として評価できる。また、国際協力機構(JICA)や経済産業省との連携により、インドネシア、フィリピン、マレーシアのアジア諸国における溶接技術者に対して技術指導を行う(項目13-1-1)など積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、競争的資金の間接経費や所長のリーダーシップ経費等を利用して、教員の業績評価をもとに若手研究者に研究費の重点配分を行う(項目17-5-1)とともに、監査報告については、所内会議等で報告の上、事務マニュアルを作成し、全教員に周知徹底する(項目17-6-1)など積極的に取り組み、大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況	<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、共同利用・共同研究拠点として、全国から259名の共同研究員を受け入れ、6大学6研究所連携事業である「特異構造金属・無機融合高機能材料開発共同研究プロジェクト」を推進する(項目8-2-1)など大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名:低温センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	該当なし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、ヘリウムガスのリサイクル利用を促進することで、安価で安定した液体ヘリウムの供給を行うほか、低温センター共同利用実験棟の実験室を整備して、共同利用に供する(項目9-3-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、豊中キャンパスの低温センター利用者に対して評価及び要望シートを配布して、利用者からの意見を聴取し、改善点等の検討と今後の指針の議論を行う(項目24-1-1)ほか、春季と秋季に安全衛生集中講習会にて安全講習を行う(項目27-3-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、ヘリウムガスのリサイクル利用を促進することで、安価で安定した液体ヘリウムの供給を行う(項目9-3-1)とともに、安全衛生集中講習会にて安全講習を行う(項目27-3-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名: 超高压電子顕微鏡センター

項目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 該当なし。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、高校生に対する学内施設見学会を16件実施する(項目3-1)など、適切に実施している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、学内研究者の共同利用・共同研究を75件実施するとともに、ナノテクノロジーネットワークプロジェクトの共同利用・共同研究を42件実施する(項目10-1-1)など積極的に取り組んでいる。また、超高压電顕要素技術開発(高時間分解能化にむけた電子源改造、高解像度撮像系の開発)ならびに共同利用研究を5件実施する(項目8-2-1)など、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、電子顕微鏡スクールを実施し、電子顕微鏡研究手法のPR活動を行う(項目11-2-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営 以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、部局の自己評価を行い、年報にその内容を記載する(項目24-1-1)とともに、安全講習会を実施する(項目27-3-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、多くの共同利用・共同研究を実施するとともに、大学の特性を生かした多様な学術研究機能の充実「超高压電子顕微鏡連携ステーション(第Ⅱ期)」における世話大学を務める(項目8-2-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名:ラジオアイソトープ総合センター

項目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、放射線障害防止法に規定されている教育訓練において、ホームページで放射線取扱主任者試験について紹介し、受験申込書を希望者に配付するとともに受験対策講座を開催し(項目2-1)、ヴァーチャルリアリティ放射線教育訓練システムを放射性同位元素等取扱者教育訓練で活用する(項目4-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、吹田と豊中を併せて共同利用申請件数のべ38件、共同利用者数505名、利用者向けの講習会を延べ30回実施する(受講者数のべ207名)(項目10-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、豊中市消防署員への放射線安全教育講習会を3回実施する(項目12-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、非密封放射性物質作業室の作業環境測定を毎月実施するとともに、全学の放射線業務従事者の個人管理(健康診断、被ばく管理、教育訓練等)のためのシステムの運用を行い(登録者数5,103名)、放射線障害防止法で規定する教育及び訓練をセンター主催で11回、共催・協力で8回開催する(受講者数2,568名)(項目27-2)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、放射線取扱業務従事者に対する教育訓練、作業環境及び安全の管理(項目2-1、10-1、27-2)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名: 環境安全研究管理センター

項目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	該当なし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 特になし。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 特になし。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、法や規制に基づき、化学物質、薬品等の処理ならびに適正な管理を行う、薬品管理支援システムの管理運営を行い、学内登録件数を増加させる(項目27-2-1)、環境安全ニュースを年3回配布する(項目27-3-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、法や規制に基づき、化学物質、薬品等の処理ならびに適正な管理を行う(項目27-2-1)とともに、関連する業務や広報活動に適切に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名:国際教育交流センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、英語による授業や学生指導ができる教員の養成のため、4日間にわたるワークショップ型FDを実施し17名の参加者を得る(項目5-3-1)とともに、学生に対するオリエンテーション、ガイダンス、チューター制度を継続して行う(項目6-1-1)など大学の実績として評価できる。また、インターナショナル・カレッジにおいて、日本語科目、共通教育科目を提供したほか、コース開始時のオリエンテーションにも協力する(項目1-1-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 特になし。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、(独)日本学生支援機構(JASSO)のショートビジット奨学金を獲得し、イギリス及びオーストラリアに係る短期語学研修プログラムを国際交流科目として実施し、いずれも前年を大幅に上回る39名が参加する(項目13-1-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>該当なし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、英語による授業や学生指導ができる教員の養成のため、4日間にわたるワークショップ型FDを実施し17名の参加者を得る(項目5-3-1)など積極的に取り組み、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名: 生物工学国際交流センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	該当なし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、日本学術振興会アジア研究教育拠点事業である「亜熱帯微生物資源を活用する次世代物造りバイオ技術の構築」が、中間評価Aの結果を得る(項目8-1-1、8-3-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、東南アジア共同研究拠点が有効活用され、タイ周辺地域の発展に貢献するとともに、研究プロジェクトの一環として、若手研究者、研修生、研究員等を計画的に受け入れる(項目13-1-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、ユネスコに提案した次世代の人材育成プログラム「UNESCO Biotechnology School in Asia」が、ユネスコパリ事務局より承認を受けたほか、ホームページ、英文パンフレット、冊子等を作成し、外部に発信する(項目25-1-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、日本学術振興会アジア研究教育拠点事業のプロジェクトが中間評価Aの結果を得る(項目8-1-1、8-3-1)とともに、ユネスコに提案した次世代の人材育成プログラムが承認を受ける(項目25-1-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名: 極限量子科学研究センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	該当なし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、グローバルCOEプログラム「物質の量子機能解明と未来型機能材料創出」を推進し、43編の論文と、32件の国際会議発表を行う(項目8-2-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、外国人客員教員を延べ5名招聘する(項目13-1-1)など、国際的共同研究を推進する体制の構築に積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は外部資金が昨年度と比較して80%増加する(項目20-1-1)など、競争的資金の獲得に積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、グローバルCOEプログラム「物質の量子機能解明と未来型機能材料創出」を推進する(項目8-2-1)とともに、外部資金が昨年度と比較して80%増加する(項目20-1-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名: 太陽エネルギー化学研究センター

項目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、基礎セミナーの提供および分担協力を行う(項目1-2-1)、大学院高度副プログラムや副専攻プログラムに講義を提供する(項目2-2)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、研究企画WG「太陽エネルギー利用技術」において、新たな産学連携の研究拠点の立ち上げを目指した研究会活動を活発に行う(項目8-2-1)など、大学の年度計画に貢献している。また、センターの研究分野を3分野体制から4分野体制に改組し基礎から応用までの研究をバランスよく推進する体制を整える(項目9-2-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、2名の外国人研究者を特任教員として採用した(項目13-1)ほか、韓国の大学との学術交流協定を新たに締結する(項目13-2)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営 以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 該当なし。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、センターの活動状況や自己評価などをセンター年報としてまとめ、関連機関・関連研究者等に配布する(項目25-1)など、適切に実施している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、研究企画WG「太陽エネルギー利用技術」において、新たな産学連携の研究拠点の立ち上げを目指した研究会活動を活発に行う(項目8-2-1)など、大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名:総合学術博物館

項 目	コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、博物館学実習などにおいて博物館展示の博物館資料の写真撮影ならびにそのデータベース化等について、実習的授業を行い、同資料を積極的に利用するとともに、模擬展覧会を企画する(項目1-2-1)など積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 特になし。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	<p>(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流</p> <p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、豊中市教育委員会と連携して「夏の小学生科学体験教室」を4回開催し、延べ92名の参加を得る(項目12-1-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、展覧会を2回、公開講座等を47回開催するとともに、新規の寄託1件(464点)を受け入れ、収蔵品を充実し、貴重学術資料の保存のためデータベースの整備などに積極的に取り組み、入館者は昨年度より増加し20,558人となる(項目29-2)など、大学の実績として評価できる。また、寄託された具体美術協会関係資料を、国内の美術館にとどまらず、海外の有力美術館に対し積極的に貸し出す(項目29-2)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況	<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、新規の寄託を受け入れ、収蔵品を充実し、貴重学術資料の保存のためデータベースを整備する(項目29-2)など積極的に取り組み、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名: 大学教育実践センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、高学年次配当の教養教育科目として、総長推薦講義など新たに計10科目(受講者数計308名)を開講する(項目1-1-2)とともに、教員の学習ポートフォリオの利用枚数は前年度比1.5倍増となる(項目5-1-1)など成果が上がっており、大学の年度計画に貢献している。また、成績分布の平準化に向けて引き続き検討を行う(項目5-1-1)とともに、ステューデント・コモنزの利用者が前年度に比べて一段と増加し、カルチエ、開放型セミナー室等、双方向型授業等の実施等に活用される(項目5-1-1)、また、国際教育交流センターと連携し、チューターガイダンスを実施し、チューターハンドブックの配布を行う(項目6-1-1)など積極的に取り組み、大学の実績として評価できる。さらに、新入生から大学院生までの一貫した教養教育を統括する組織として、平成24年度から全学教育推進機構を設置することを決定し準備を進めるなど、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 特になし。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 特になし。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	該当なし。
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、ステューデント・コモنزの利用者が前年度に比べて一段と増加した(項目5-1-1)ほか、全学教育推進機構を設置することを決定し準備を進めるなど、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名:保健センター

項目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	該当なし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	該当なし。
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、メンタルヘルスに関する全学的な相談を受け付けるとともに、普及啓発活動を実施する(相談件数: 精神科受診件数1,953件、学生相談室相談件数2,022件)(項目27-4-1)など積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、全学共通教育科目の担当(項目1-2)、学生健康診断問診Web化の経費措置及び準備の開始(項目19-2)とともに、メンタルヘルスに関する全学的な相談、普及啓発活動の実施(項目27-4-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名:臨床医工学融合研究教育センター

項目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、医学、生命科学、工学、情報科学などの研究科と協力しながら、博士前期課程対象プログラムとして89科目を提供する、高度職業人育成科として大学院高度副プログラムに参画する(項目2-1-1)、専門科及び高度職業人育成科のコース修了基準を見直す(項目5-1-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、グローバルCOEプログラム「医・工・情報学融合による予測医学基盤創成」を展開し(項目8-2-1)、それを通じて17名の大学院生をRAとして支援し、19名のポストクの研究支援を行うとともに、8回のシンポジウムを開催し、講演を通じて若手研究者の人材育成に寄与する(項目10-1-2)など大学の年度計画に貢献している。また、「医・工・情報連携によるハイブリット医工学産学連携拠点整備事業」を推進し、研究環境の整備、特任教員の雇用(項目8-1-1等)など積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、産学連携部門において、企業、学外施設、学内のメンバーで構成される「検討会」を組織する(項目11-1-1)、5コースの土曜講座を開講し、社会人受講生延べ85名を含む延べ358名が参加する(項目11-2-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、平成22年度の受講生に行った授業アンケートの結果を集計・分析した結果、前年度に比べ改善点などの要望が減少傾向となり、講義を受けて「将来の役に立つ」等の肯定的な意見が増加する(項目24-1-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、専門科及び高度職業人育成科のコース修了基準を見直す(項目5-1-1)とともに、グローバルCOEプログラムの展開(項目8-2-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名:コミュニケーションデザイン・センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、47のコミュニケーションデザイン科目を高度教養科目として提供し、13研究科から延べ909名の履修者を得るとともに、学生アンケート結果をもとに、授業改善やカリキュラム開発に役立てる(項目1-1-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	該当なし。
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、1件当たり年間3,000万円以上の公的研究費の配分を受ける学内研究者のアウトリーチ活動の場として「ラボカフェ」の開催を学内公募し、公的研究費の配分を受けている学内研究者が一般市民を対象に12回実施する(項目12-1-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、履修学生に対して、コミュニケーション科目の選択理由及び有用性等々に関するアンケートを実施し、分析結果をコミュニケーションデザイン研究会(FD)で報告し、課題についての議論、授業改善やカリキュラム開発、学生への効果的な広報の検討に役立てる(項目25-1)など積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、ラボカフェ、サイエンスショップ、オレンジカフェの開催(項目12-1-1)など社会連携・社会貢献活動に積極的に取り組み、成果が上がっている。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名:金融・保険教育研究センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、新たな制度として、「副専攻プログラム(金融・保険)」を開講する(項目2-2-1)など大学の実績として評価できる。また、他研究科等との協同で、文部科学省特別経費による人材育成事業「ソフトウェアイノベーション先導のための研究教育プログラムの開発」を開始する(項目1-1-1)など積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、戦略的創造研究推進事業(CREST)「複雑な金融商品の数学的構造と無限次元解析」に基礎工学研究科からの兼任教員らが参画して、研究を推進する(項目8-2-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、大阪証券取引所と共同で、金融市場の代表的リスク指標である「ボラティリティ・インデックス」の日本版の開発・改良を進める(項目12-1-1)とともに、計算されたインデックスをホームページで公開し、学术界・実務界から高い評価を受ける)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 特になし。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、新たな制度として、「副専攻プログラム(金融・保険)」を開講する(項目2-2-2)など積極的に取り組み、大学の実績として評価できる。今後、金融・保険教育研究センターの特色である文理融合を特徴とする取り組みのさらなる展開を期待する。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名: 科学教育機器リノベーションセンター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、技術講習会の実施(項目2-1-1)、機械工作ステューデントショップの運営(利用件数: 1,741件)(項目6-3-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、本センターの支援により、複数部局において70機種をリユース機器として運用し、機器を所有する部局内における利用は13,334件、異なる部局間での利用は329件であり、また6機種を学外利用に供用し、学外の利用は7件となるなど積極的に実施するとともに、利用者向けのリユース機器講習会を19回開催(受講者計132名)する(項目9-3-1)など、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 特になし。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 特になし。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、70機種をリユース機器として運用する(項目9-3-1)とともに、文部科学省の特別経費にて措置された「設備サポートセンター整備事業」を開始し、科学教育機器リノベーションセンターに「サポート推進室」を設置するなど、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名: グローバルコラボレーションセンター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、薬学研究科と連携し、組織的大学院教育改革プログラム「健康環境リスクマネジメント専門家育成」を実施する(項目4-1)など、大学の年度計画に貢献している。また、海外体験型教育について、海外フィールドスタディ、海外インターンシップ及び関連の科目を開発し、全学に提供する(項目1-3等)とともに、海外体験型教育企画オフィス(FIELD0)内で、海外体験型学習に関する自主学習スペース(STUDIO)の実質的運営を開始する(項目5-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、FDセミナーを計4回実施し、新規着任教員等の研究・教育・実践支援経験について発表及び参加者による全体討論を行うことにより、教員間の相互理解を深め、研究のプログラム構築に活用する(項目9-1)など積極的に取り組み、大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 特になし。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 特になし。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、薬学研究科と連携した組織的大学院教育改革プログラムのやFDセミナーを実施する(項目4-1-1)など、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名:世界言語研究センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	該当なし。
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、民族紛争の背景に関する地政学的研究プロジェクト国際シンポジウム(大阪大学創立80周年記念)を開催する(項目8-3-1)など大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、東日本大震災に対し、国内在住の外国人を対象に、阪大留学生とDaily Yomiuriの協力を得つつ、10か国語以上の言語で、生活に直結する情報を翻訳し、Web上で提供する(項目12-1-1)など、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、言語文化研究科との組織統合及び言語文化研究科が外国語学部の幹事研究科となることについての課題を検討するなど、平成24年度からの研究科体制への移行準備を進め(項目17-3等)、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、言語文化研究科との組織統合準備を進める(項目17-3等)など、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名: 日本語日本文化教育センター

項目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、春学期・秋学期の授業効果アンケートを行い、春学期の回収率は79.8%で、総合評価項目について肯定的評価は95.6%との結果を得るとともに、教育活動アンケートを実施し、教育活動の組織的な自己評価を行う(項目5-2)など大学の年度計画に貢献している。さらに、日本語・日本文化研修留学生プログラムを実施し、9月に44名の修了生を出すとともに、翌月新たに45名の学生を受け入れたほか、同プログラムの改善を目的に、関係大学間の教員交流を行い、本センターに在籍したタイ人留学生に対する教育効果を共同で調査する(項目1-3-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	該当なし。
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、教育関係共同利用拠点として認定され、日本語教育の中心的拠点としての活動の展開に積極的に取り組み、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	該当なし。
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、授業効果アンケート、教育活動アンケートを実施する(項目5-2)とともに、教育関係共同利用拠点として認定され活動を展開するなど積極的に取り組み、大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名:環境イノベーションデザインセンター

項目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】</p> <p>平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】</p> <p>平成23年度は、大学院高度副プログラム「サステナビリティ学」において、東京大学、京都大学などと共同で英語科目「サステナビリティ最前線」を開講し、他大学とのディスカッションを行う(項目1-2)、学生面談や授業アンケートなどのコメントなどを反映する形で授業やプログラムの改善を行う(項目5-2)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】</p> <p>特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】</p> <p>平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】</p> <p>平成23年度は、低炭素社会や循環型社会、安心安全社会の実現に向けたビジョンとシーズ研究を結びつける研究を推進する体制を整備・推進するために、基盤研究及び外部資金獲得を行い、複数年の安定した研究運営資金を獲得する(項目8-2)など大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】</p> <p>特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】</p> <p>平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】</p> <p>平成23年度は、CEIDS国内シンポジウムを吹田市と共催し、自治体との共同研究の足がかりを構築する(項目11-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】</p> <p>特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】</p> <p>平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】</p> <p>平成23年度は、環境エネルギー管理部と学内における省エネ推進体制を構築し、電力消費の可視化や啓もう活動を通じ節電対策を推進する(項目26-2)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】</p> <p>特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】</p> <p>中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】</p> <p>平成23年度は、大学院高度副プログラム「サステナビリティ学」をさらに展開する(項目1-2)、環境エネルギー管理部と学内における省エネ推進体制を構築し、電力消費の可視化や啓もう活動を通じ節電対策を推進する(項目26-2)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】</p> <p>特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名: ナノサイエンスデザイン教育研究センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、新たな副専攻プログラムの開講(項目2-2-1)、ICTを利用し社会人教育プログラムの講義を114回配信(項目4-2-1)、授業評価アンケートのフィードバック及び授業改善(項目5-2-1)、企業コンソーシアムを活用した外部評価の実施(項目5-2-2)など積極的に取り組んでおり、大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、「ナノテクキャリアアップ特論」を筑波大学、和歌山大学、滋賀県立大学、兵庫県立大学、九州大学へ配信し、230名の学内外の大学院生や若手研究者がプログラムを共有する(項目10-1-2)など大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、社会人の利便を考慮した土曜集中講座の開講(項目11-2-2)など積極的に取り組んでおり、大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、センターを6つの部門制とし、役割分担を明確化する(項目17-5-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、新たな副専攻プログラムの開講(項目2-2-1)、授業評価アンケートのフィードバック及び授業改善(項目5-2-1)、企業コンソーシアムを活用した外部評価の実施(項目5-2-2)など積極的に取り組んでおり、大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名:知的財産センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】</p> <p>平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】</p> <p>平成23年度は、全学共通教育科目「法の世界（知的財産モラル）」の受講対象を全学部拡大するとともに、新たに文系学部を受講対象とした「知的財産モラル」3クラスを開講する（項目1-1-1）など、大学の年度計画に貢献している。また、文部科学省・特許庁・企業の実務経験者、弁理士、弁護士による授業を開講する（項目4-1-1）とともに、授業アンケート結果を各教員にフィードバックした上、講義の改善会議を実施する（項目5-2-1）など積極的に取り組んでおり、大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】</p> <p>特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】</p> <p>平成23年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】</p> <p>特になし。</p> <p>【留意事項】</p> <p>特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】</p> <p>平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】</p> <p>平成23年度は、社会連携事業の円滑な実施に向け、発明協会（本部）、大阪発明協会及び大阪大学における連携協力に関する包括協定の締結にあたり、センター教員が大学本部と発明協会との連携を取り、その実現に大きく寄与する（項目12-1-1）など、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】</p> <p>特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】</p> <p>平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】</p> <p>平成23年度は、ペーパーレス会議のための環境整備を行ったほか、評価システムの構築準備を進める（項目19-2-1）など積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】</p> <p>特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】</p> <p>中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】</p> <p>平成23年度は、知的財産に関する授業を新たに開講する（項目1-1-1）など、大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】</p> <p>特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名:核物理研究センター

項目	コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、理学研究科の協力講座として、46の大学、14の研究機関、6の民間企業から180名の協同研究員を受け入れるとともに、サイクロトロン施設やレーザー電子光施設、スーパーコンピューターを大学院生の研究教育、学部教育に利用する(項目4-1-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、共同利用・共同研究拠点として、国内外の原子核研究者から研究課題を公募し20課題を採択する(項目8-3-1)とともに、サイクロトロン加速器施設では、共同利用・共同研究に136機関延べ915名が参加する(項目10-1-1)など大学の年度計画に貢献している。また新学術領域研究「新ハドロン」において、レーザー電子光ビーム実験施設(LEPS)の高度化を進め、この研究領域は文部科学省の「科学技術・学術審議会学術分科会科学研究費補助金審査部会」の中間評価において最高評価(A+)を得るなど大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	<p>(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流</p> <p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、スパコン京の全国規模運用の一環として、HPCIコンソーシアムに参加することを決定したほか、原発事故に対し、全国の核物理コミュニティによる土壌調査、及びスクリーニング事業の窓口となり、人員を派遣、調査支援を行う(項目12-1-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、監査報告を教授会等に報告し、予算配分方式の見直しや経費削減のための業務改善に努める(項目17-6-1)など、大学の年度計画に貢献している。また、理学研究科附属原子核実験施設を統合し研究の効率化を図る(項目17-3-1)など積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況	<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、共同利用・共同研究拠点として、国内外の原子核研究者から研究課題を公募し、20課題を採択する(項目8-3-1)とともに、新学術領域研究「新ハドロン」において、レーザー電子光ビーム実験施設(LEPS)の高度化を進め、文部科学省の「科学技術・学術審議会学術分科会科学研究費補助金審査部会」の中間評価において最高評価(A+)を得るなど大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名:サイバーメディアセンター

項目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、講習会や学生TAを活用してWebCTの利用促進を行い、前年度に比べ約10%程度利用が増加したほか、教員及びTAを対象としたCALL講習会を年5回開催する(項目4-2-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、ネットワーク型の学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点として、共同研究課題を公募し、共同研究課題審査委員会及び拠点運営委員会の審査を経て、39件の研究課題を採択し、このうち6課題については、本センターの大規模計算機システムや可視化装置を活用して共同研究を実施する(項目8-1-1)など、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、IT連携フォーラムOACISを拡充し、その他のシンポジウムや技術講座も実施する(項目11-1-1)など積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 特になし。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、共同利用・共同研究拠点として、39件の研究課題を採択し共同研究を実施する(項目8-1-1)とともに、WebCTの利用促進活動の結果、前年度に比べ約10%程度利用が増加した(項目4-2-1)ほか、学内インフラの効率化を実現する(項目29-1-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名:レーザーエネルギー学研究センター

項目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、グローバル30の国際物理コースとして学生を受け入れ、実践的な国際教育を推進する(項目1-3-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、FDのための研究報告会を17回開催するとともに、技術部定例会を5回開催し、技術系職員相互の各種情報交換を行い、各種学外研修を奨励する(項目9-1-1)など積極的に取り組んでいる。また、激光XII号、LFEXレーザー装置を世界トップクラスの性能に維持し、国際共同実験を含む共同利用・共同研究に活用する(項目10-1-1)など、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、先端研究施設共用促進事業を通して、本センターのシーズを活用した17件の産業連携研究テーマを実施する(項目11-1-1)など、積極的に取り組んでいる。さらに、マドリッド工科大学と新規に研究協力協定を締結するとともに、米国ローレンスリバモア国立研究所と高エネルギー密度科学分野での研究協力協定を結ぶなど、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、ファカルティ会議の開催頻度を倍にして連絡を密にすることにより、センターとして統一した教育、研究、運営の推進体制がとれるようにしたほか、センター内の達成状況評価、教員自己評価等を行い、改善点について企画会議やファカルティ会議で議論する(項目17-1-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、共同利用・共同研究拠点として積極的に活動し、外部利用者のサポート体制を整え、143件の課題型共同研究を採択する(項目8-1-1)など積極的に取り組み、大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名: 免疫学フロンティア研究センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、センター主催の英語によるセミナーを計30回開催する(項目1-3)など積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、240編以上の論文を発表した(項目8-2)ほか、異分野融合研究支援プログラム16課題の評価・アドバイスを行い、支援を継続する(項目10-1)とともに、研究報告会の開催など積極的に取り組んでいる。またWPIプログラム委員会による中間評価においては、5拠点中2位となるA評価を受ける(項目9-2)など成果が上がっており、大学の年度計画に貢献している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、シンガポール免疫ネットワークとの共催で最先端免疫学ウィンタースクールを開催し、世界48カ国より209名の応募者があり、書類選考された53名の大学院生・若手研究者が、5日間にわたり淡路島で研究発表や自由討論を行う(項目13-2)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、WPIプログラム委員会、作業部会の意見を踏まえ、センターの目標認識、ロードマップの策定、新任スタッフオリエンテーションの実施による認識共有、研究室毎の研究進捗状況、業績リスト等を含む年報の作成などの改善を行う(項目24-1-1)など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、240編以上の論文を発表した(項目8-2)ほか、異分野融合研究支援プログラム16課題の評価・アドバイスを行い支援を継続する(項目10-1)など積極的に取り組み、大学の年度計画に貢献している。またWPIプログラム委員会による中間評価においては、5拠点中2位となるA評価を受ける(項目9-2)など特筆すべき成果が上がっている。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成23年度)

部局名:学際融合教育研究センター

項目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成23年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、学際融合教育研究センターのホームページのリニューアルを行うとともに、大学ホームページやO+PUS（学内多目的ディスプレイ）を用いた副専攻・大学院高度副プログラム関連イベント情報の発信に努め、学内の合同ガイダンス及び他大学の大学院生を交えた合宿形式のセミナーを開催する（項目2-2-1）など積極的に取り組み、大学の実績として評価できる。また、大学院高度副プログラムの管理・運営の標準実施方法に、副専攻プログラムの管理・運営方法を加えたマニュアルを作成し、その成果を学際融合教育支援システムに反映させる（項目2-2-1）など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	該当なし。
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	該当なし。
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	該当なし。
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成23年度は、情報発信や学生交流学際融合教育セミナーの開催（項目2-2-1）など積極的に取り組み、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>